



日本技術士会 千葉県支部会報 第12号(2020) 発行日 2020年11月28日

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-7-10 シャンボール千葉中央 2階 206号

日本技術士会千葉県支部 広報委員会

一次試験・二次試験合格者へのメッセージ特集号

会報12号は特別編集になり、巻頭言と編集後記を除いた形式で発行します。

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大で、今までと同じやり方が通用しない年でした。例年ですと、5月に一次試験・二次試験合格者を招待して歓迎会を開催していました。その場に参加された合格者の方々を一本釣りして「合格者メッセージ」を執筆してもらっていました。支部役員会では、オンライン開催の可能性も議論されましたが、今年の合格者歓迎イベントを中止しました。

新規合格者へメッセージだけでも伝えられないかと検討した結果、会報12号を新規合格者へのメッセージ特集号として、メッセージを同報メールで募集しました。

幸いなことに、新規合格者からも合格者の自己紹介として原稿をいただきました。

なお、それぞれのメッセージはあくまで個人の考えとして発信しているものであり、千葉県支部や委員会の公式見解ではないことをお伝えしておきます。

(千葉県支部 広報委員長 秋元英郎)

## 二次試験合格者メッセージ

### 維持管理・更新時代を迎えるに当たり

福田 和雄(建設部門)

私は、建設コンサルタント会社に現在所属している企業内技術士です。  
専門分野は、施工計画であります。

大学卒業後、建設会社で35年程港湾・海洋土木工事を中心に港湾及び海洋構造物、棧橋、海岸、護岸から陸上土木などの施設建設や耐震補強、維持補修・増強工事など幅広い施工経験をしました。その後、経験を活かした職務をと考え建設コンサルタント業務に至っています。

建設コンサルでは、海洋、港湾、漁港、海岸～陸上までの施設建設や更新などの施工方策検討や実施設計、詳細施工など検討業務を行ってきました。

業務の中で、資格の重要性を再認識し昨年度晴れて取得することができました。

私は、施設の建設においては設計・施工計画を踏まえた全体の最適化が重要であると考えています。また、施工では、工法比較で施工性、安全・環境面の条件確保、工期、経済性の側面から無理のない施工法の選定が重要であります。そのため、施工方法や施工手順・要領などまで踏み込んだ提案を心がけて行っています。土木構造物の施工では、安全と環境に配慮した施工法で工期を短く、早期に利用できる状態を造ることが大切であると考えています。

今後、社会資本ストックの建設もさることながら高齢化するストックの維持管理・更新の時代が大きく業務の中心になっていくことから、維持管理や施工のノウハウを活かした設計が重要であります。そのため、経験を活かした提案を今後とも行っていき、少しでも公益の確保と安全・環境の保持に貢献していきたいと考えております。

そのため、技術の継続研鑽と資質の向上が大切でありアンテナをはり興味ある専門分野のセミナーや研修に参加していきたいと考えています。

今後は技術士法では、「名称表示の場合の義務」が定められている。つまり、技術士として業務を行う時には、自らの専門分野を明確にすることです。従って、自分の専門分野以外の仕事を必然的に遠慮することになります。でも、現在の社会的な課題は、一つの専門分野で解決出来るようなものは少ないです。どうしても多面的な考察や検討が必要でありますので、異分野の仲間づくりに参加させていただき自らの業として地域で貢献していきたいと考えています。

よろしくお願いいたします。

(千葉県市原市在住)

以上

## 新規合格者へのメッセージ

川畑真一（情報工学部門）



合格者の皆様、おめでとうございます。

第一次試験合格者の皆様は、次の第二次試験が待っているのでまだまだと気を引き締めていらっしゃるかもしれませんが、第1難関を突破されましたことは技術者人生で大きな一歩を踏み出したことです。

技術士資格はどのようなメリットがあるでしょうか？私の経験でお話しします。

まず、相手から信頼を得られることです。技術士資格を知っている人は当然、知らない人にも技術士制度を説明することにより信頼を得られます。「私は技術士ですから技術士法に従って業務をしています」とお客様に宣言した技術士もいらっしゃいますし、技術士資格を取得して、「今後の設計打合せは技術士としかしない」と宣言された私のお客様もいらっしゃいました。

次に技術士になったら資格で食っていけるとお考えの方がいらっしゃるかもしれませんが、資格があるから食えるのではなく、実力があるから食えるのです。実力があることを証明するのが技術士資格です。尤も、部門によっては技術士の資格だけで就ける職業もあります。私は59歳で次の職場、さらに8年後に次の職場と技術士の資格を活かして企業内技術士として社会に貢献しています。では、食っていく実力をどう身につけるのでしょうか？それが三つ目です。

三つめは技術士同士の交流です。日本技術士会だけでなく技術士は企業内技術士会、大学の技術士会、さらには業務を契約するために法人化した技術士会などいろいろな技術士会があり、要件を満たせば入会できます。私もいくつかの技術士会に席を置いています。異分野の技術士の方、同業の技術士の方、独立している技術士の方、さらにはライバル会社の技術士の方と色々な方がいらっしゃいます。通常、会合の後は懇親会を開催しますので、同じ会員として忌憚なく技術、業界、社会などの意見を交わし、仲良くなり人脈の幅を広げられます。「独立した技術士として食っていきたい」と意思表示をするといろんな方が助言を呉れると思います。

折角、技術士に合格したのですから日本技術士会をはじめとして、いろいろな技術士会に入って活動の場を広げませんか？日本技術士会に入るときは、機関誌である月刊「技術士」の送付先を千葉県内にすることをお忘れなく。送付先で千葉県支部会員に自動的になりますので、日本技術士会本部のサービスに加え千葉県支部のサービスも同じ会費で享受できます。

皆様の入会をお待ちします。

## 新合格者へのメッセージ

福崎技術士事務所  
福崎昌宏（金属部門）



2020年 技術士一次試験、二次試験合格者の皆様、誠におめでとうございます。私は2017年に技術士二次試験に合格しました。技術士になって3年程度経ちますが、様々なことを経験しました。

あなたが技術士を目指した目標は何ですか。優れた技術者になること、良い製品・サービスを作ること、技術の向上を目指すこと、技術者を育てることなど色々な目標があったでしょう。技術士となったなら、これらのことを実現する出発地点に立ると言えるでしょう。技術士は合格して終わりではなく、合格してからが始まりです。

技術士の活動は多岐に渡ります。日本技術士会には21の専門分野があり、それぞれの専門家がいます。そして、海外活動も含めた様々な委員会もあります。他の技術士との交流はとても刺激的なものになるでしょう。技術士の所属として大きく企業内技術士、独立技術士があり、公共事業から一般企業まで幅広い顧客がいます。さらに、大学、官庁、地方自治体などと協力することもあります。これらの活動を通じてあなたの専門知識や経験を研鑽し社会に貢献することができます。

私は技術士を取得したら2年後に独立技術士になると決めました。そして現在、それを実現しています。独立することで一つの会社にとらわれず、多くの顧客に貢献することができます。また講演や執筆活動、技術士のPRなど幅広く活動しています。元気に活躍する技術士が増えれば世間の技術士に対する認識や知名度も広がり、さらに技術士を目指す人も増え技術士の活性化につながると考えています。

今後は副業も解禁されていくなど日本の働き方も変化し、一つの企業にとどまらず様々な企業と仕事をするが増えるでしょう。そのような状況で高度な専門性や技術者倫理を備えた技術士は活躍の場が増えるでしょう。時代の変化を危機ではなくチャンスにできる可能性は十分あります。

私もまだまだ駆け出しであり、新合格者の方と様々な活動を通じて一緒に社会に貢献していきたいと思っております。これからよろしくご協力致します。

## 新合格者の皆様へ向けて

板津英輔(原子力・放射線部門)



技術士試験合格者の皆様、合格おめでとうございます。既に登録を済ませた方、手続き中の方、これから登録しようとしてされている方等様々いらっしゃると思います。

さて、資格類は「取って」しまえばこっちのもん、という考え方があります。正直なところ、同意できる部分も多少はあります(笑)が、技術士に関しましては「取って」からがスタートだと感じています。

御承知のように技術士は継続研鑽(Continuing Professional Development, CPD)が責務として定められています。

技術士は、常に、その業務に関して有する知識及び技能の水準を向上させ、その他その資質の向上を図るよう努めなければならない。(技術士法 第四十七条の二)

日本技術士会ではCPDの要件、達成目標を体系的・数値的に定め、客観的な基準のもと認定を行っています。日ごろから無意識のうちにCPDを実践されている諸兄に対しては失礼ではありますが、「ポケーっと生きてる」私はCPDの達成目標を意識しないと技術士会の基準を満たしていない現状に気づきました。既に自分の専門分野で高度な専門性をお持ちの方が技術士となられていますので、自己の知識や技能等の専門性を向上させる手段はすでに持ち合わせており、継続的に実践なされている方がほとんどかと思えます。今回、私自身がCPDを幅広く行うために得たことを共有させていただきます。

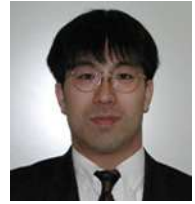
学会や工業会等の学術団体や工業団体では会員向けの定期的な会議を主催しています。これらの団体は会員であるための会費を支払う必要がありますが、一部の団体では会員外の参加を認めているイベントも開催しており、これらの情報は団体のウェブサイトにて公開されています。団体によってはニュースレターの購読を申し込むことでE-mailによる情報の配信を受けることができます。学術団体に限らず、行政や研究機関でも同様の機関を多く見ます。

ご自身の専門分野を受講すると物足りなさを感じることも多いかもしれませんが、専門の周辺分野のセミナーを受講すると自身の引き出しを広げることができます。

ウェブサイトが充実している昨今では、機関の窓口や広報誌を入手しないと知りえなかった情報を簡単に自宅に居ながら、あるいは移動中にでも入手できる世の中です。これらの機関が前向きな姿勢で提供している教育機会を利用しない手はありません。専門の周辺領域に関連する公的な情報も有効に活用し、CPDを促進しつつ楽しい技術士ライフをお過ごしください。

## 令和元年度 新合格者へのメッセージ

海洋エンジニアリング株式会社  
小林創（水産部門）



令和元年度 技術士一次試験、二次試験合格者の皆様、誠におめでとうございます。

私は平成28(2017)年度に水産部門で二次試験に合格しました。

技術士としては5年目(=5年生)ですが、そうは言っても技術士の世界に踏み込んだことで、業務も業務外も流れや周囲との関りが一変しました。広さも深さも技術士以前とは比べ物にならない内容が待っていましたし、求められるようになりました…。

私は環境調査(建設コンサルタント)会社に勤務する所謂「企業内技術士」として、海域を中心とした水域環境の調査、解析評価、提案に携わっています。私が働く業界では資格要件として技術士が必要な場面が多々有り、日々の業務により深く高度に関り、関係主体(客先、協力提携先、もちろん一般市民の方々)との良好な関係を築く際に必要です(というより築くための強力なツールです)。

ですので、社内の同僚、先輩にも同じ水産部門は勿論、環境部門、会社がコンサルタント登録するために必要不可欠な建設部門の技術士が所属しています。

私が技術士取得を目指したのも、こうした先輩方の勧めも含めて、日々の業務で必要性を感じたからです。

合格された皆様も、少なからず技術士に必要性を感じたから挑み、合格を勝ち取ったことと想像します。

(二次試験合格者の皆様は口頭試験で質問されたと思いますが)、技術士には「3つの義務(①信用失墜行為の禁止の義務 ②秘密保持の義務 ③名称表示の場合の義務)と2つの責務(①公益確保の責務 ②資質向上の責務)」が求められます。実務にあたり技術士としてどうあるべきかということの基本であると共に、技術士に限らず技術者全体が持つべき感覚に共通すると思います。

二次試験合格者の皆様だけでなく一次試験合格者の皆様も、技術者の基本として常に3つの義務と2つの責務を頭の片隅に置き、これからの始まるそれぞれの技術士の道を進んでください。

そして、それぞれの道を進んでいく上で、同部門だけでなく他部門の幅広い技術士の方々との情報交換の場となる千葉県支部には是非参加頂ければと思います。

皆様と有意義な情報交換が出来る事を期待しつつ、ご参加をお待ちしております。

以上

## 新合格者へのメッセージ

DMG森精機株式会社  
櫛野勝（機械部門）



令和元年度 技術士一次試験、二次試験合格者の皆様、誠におめでとうございます。  
私は平成30年度に二次試験に合格しました。従って、技術士としての経験はまだ1年半程度の為、新合格者の皆様とあまり変わりません。

そのような短い経過時間のなかで、私が感じたことは、「技術士の資格取得がゴールではない」ということです。技術士の資格を取得してからがスタートなのです。技術士の資格を活かすも殺すも今後の自分の行動にかかっています。

独立して事務所を開設して社会に貢献するのもよし、企業内技術士として業務を行うのもよし、或いは、更には経験や知識を積んで(公的な)委員会の活動に参加するのも良いと思います。ただし、技術士として活動していく上での心構えとして、「技術士としてのスキル向上に努める」、「コミュニケーションをとり、(技術士の)仲間を増やして行く」事が必要だと思います

斯く言う私も、令和元年度に労働安全コンサルタントの試験に合格したので、日本技術士会の労働安全衛生コンサルタントグループに入会し、「技術」のみならず「労働安全」についても更なる経験と知識を積んでいます。

また、9月初旬に日本技術士会の社会委員会から連絡があり、司法支援として裁判所の専門委員に推薦したいという打診がありました。裁判所からも専門委員として任命する方向で審査をすすめたいという連絡がありましたが、会社員のため副業(兼業)は認められていないので、今回は辞退しました。

このように、技術士になると、技術のみならず社会的に必要とされる場合がありますので、技術士としての資質向上が必要です。

偉そうなことを述べていると自分でも思いますが、自分もまだ技術士としての経験は浅いので、新合格者の皆様と一緒に経験と知識を積み社会に貢献していきたいと思っています。

二次試験合格者の皆様、一緒に技術士としての資質向上に努め、社会に貢献していきましょう。  
一次試験合格者の皆様、自身が二次試験の合格することをイメージして(イメージトレーニング)、二次試験に臨んでください。「二次試験に合格する」という自己暗示が大切だと思います。

## 新合格者の皆様へ向けて

株式会社ナレッジシェア 代表取締役  
徳永雅彦（情報工学部門）



技術士一次試験、二次試験合格者の皆様、合格おめでとうございます。

私は2011年に前職を退職し、独立しました。退職の際、当時の社長に「辞めたらなにをするの？」と聞かれ、「技術士になってコンサルタント業に就きます」と言っていました。それから3年、2014年に晴れて技術士資格を取得し、現在は、IT導入・社内システム整備、情報セキュリティ対策等の中小企業支援や研修講師に従事しています。

皆様の中には、技術士資格を取得し、すぐにはいなくても、将来独立を検討されている方も多いのではないのでしょうか。技術士として独立開業し、業務遂行するために必要なポイントは「技術力」「営業力」「経営力」です。

「技術力」は技術士ですから言うまでもありません。情報収集を怠らず自分の技術を磨き、常に研鑽に励み、お客様へベストな支援ができる準備を行ってください。

「営業力」は苦手な方もいるかもしれません。私も苦手です。私の営業方針は、「営業してくれる人と仲良くなる」です。人と人のネットワークはとても大事な財産です。日ごろから、コミュニケーションを大切にし、多くの人と会い、話す機会を作ってください。異業種、他の士業の方々、技術士同士などのコミュニケーションすべてが営業機会です。自分の専門以外の話にも耳を傾け、興味を持ち、話を聞く姿勢を養ってください。

「経営力」は見過ごされがちですが、独立開業には必須のポイントです。独立するという事は事業主（社長）になることです。自分の強み・弱みを分析し、事業計画を立て推進する能力が必要となります。

また、コンサルティングをする相手は、企業の社長・役員クラスの方がほとんどです。財務諸表（BS、PL）や税務の簡単な知識がないと、話できません。

技術士資格取得は一つのマイルストーンです。その先には新たな道のりと活躍の場が広がっています。皆様のご活躍をお祈り申し上げます。



## 新合格者へのメッセージ



竹内技術士事務所 所長  
竹内利一（機械部門）

技術士試験に合格した皆様、合格おめでとうございます。  
私は、会社を辞めて竹内技術士事務所を設立して5年目になります。

私の技術士事務所の業務は、大きく分けて3つあります。

1つ目は、自動化設備の生産性向上をキーワードとした、技術コンサルタントをしています。キーワードが生産性向上ですから、新規のロボットシステム導入や既存設備の稼働率向上のためのアドバイス等をしています。現在は、7社のコンサルタントをしています。

2つ目は、私は機械部門の技術士なので、機械の事故原因の調査をしています。私の専門は加工・ファクトリーオートメーション及び産業機械なので、工作機械(加工)、ロボットや自動化設備(ファクトリーオートメーション)、産業機械(クレーン)を中心に、年間10数件の調査を行っています。

3つめは、セミナー講師と大学の非常勤講師です。セミナーは、セミナー会社や社団法人のほかに企業から直接依頼を受けて、毎月数件のセミナーを実施しています。それから、私は東京電機大学出身なので、母校の東京電機大学の非常勤講師もしています。

会社に勤めていたときは、当然ながら業務命令で仕事をしていましたが、現在は自分がやりたい仕事を選んで、自分がやりたいと思ったように行っています。

そして、皆さんが気になるのはその収入面かと思いますが、現在は会社に勤めていたときの2倍程度の収入になっています。それというのも、私が会社を辞めたのはまだ定年前でしたから、年金がもらえるわけでもなく自力で稼ぐしかなかったので、真剣に独立技術士としてどうしていけばよいかを考えました。

そこでアドバイスをひとつ。自分の得意分野を決めて、あまり広げないことをお勧めします。私は生産性向上をキーワードとしていると述べましたが、その中でもチョコ停(設備がチョコッと停止する現象)に焦点を絞った「チョコ停対策セミナー」は、開催以来現在も人気のセミナーの1つです。

その他にも、技術的ドキュメントを作成する会社を設立して、社長も務めています。この会社は、私のコンサルタント先の会社が必要としているドキュメントを作成する仕事をしており、竹内技術士事務所と一緒に業務を行っています。

せっかく技術士を取得されたのですから、皆さんもぜひこの先独立を目指すことをお勧めします。  
以上

## 技術士一次及び二次試験合格者の皆様へ

竹田雅美（化学部門）



千葉県支部幹事(2期目)の竹田雅美と申します。現在、千葉県支部技術相談チームリーダーとして活動しております。

本来ですと、合格祝賀会で直接皆様にお会いして、お祝いの言葉を述べさせていただくところですが、今年はコロナ禍のために、合格祝賀会が中止となり、誌上でお祝いの言葉を述べさせていただきます。

今回、技術士の資格に挑戦され、技術士の一次及び二次試験に見事合格されたことお祝い致します。

今、我々を取り巻く環境は、地球規模の異常気象とそれに伴う災害の増加、世界的感染症の流行等、様々な脅威に脅かされ、安心、安全、安定な社会の構築が求められており、我々技術士に対する期待も大きいものがあると思います。どうか、皆様におかれましては、今後も高い志を持ち続け、これら課題解決に向け、果敢に取り組んで頂ければと思います。

最後に私から、もうすでにご存じかと思いますが、皆様以下に以下の詩をお贈り致します。  
青 春 サミエル・ウルマン(訳詞 岡田義夫)

青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。  
優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。  
年を重ねただけで人は老いない。  
理想を失う時に初めて老いがくる。  
歳月は皮膚のしわを増すが情熱を失う時に精神はしぼむ。  
苦悶や、狐疑、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。  
年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。  
曰く「驚異への愛慕心」空にひらめく星晨、その輝きにも似たる事物や思想の対する欽迎、事に處する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。人は信念と共に若く疑惑と共に老ゆる、人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる、希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる、大地より、神より、人より、美と喜悅、勇氣と壮大、そして偉力と靈感を受ける限り人の若さは失われぬ。  
これらの靈感が絶え、悲歎の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを固くとざすに至ればこの時にこそ人は全くに老いて神の憐れみを乞う他はなくなる。

## CPDなんて糞くらえ（合格者へのメッセージ）

秋元技術士事務所  
秋元英郎（化学部門）



一次試験・二次試験に合格された皆様、おめでとうございます。

もしかすると、技術士になって、CPDに励むという抱負を持っているかもしれませんが。水を差す話で恐縮ですが、とても重要な内容なので最後まで読んでください。

技術士には継続研鑽の責務があると教えられてきたかと思います。もしかすると、継続研鑽（CPD）として技術士会主催の講演会に参加して、年間50ポイント以上集める必要があると教えられたかもしれません。県支部開催のCPD行事には全て参加する意気込みで臨むように教えられたかもしれません。

でも、それは必ずしも正しくありません。

技術士には継続研鑽の責務があるのは事実です。

しかしながら、日本技術士会のCPD認定年間50ポイントは全く別な話です。

CPDの目的は詰まるところ売り上げを向上させることです。

技術士としての「商品価値」を維持・向上して、顧客数・単価・顧客のリピート率を高めるために研鑽が必要なのです。そのため、自分どのように信用を高め、自身のビジネス戦略上何を強めるか、何を補強するかを考えに基づいて行うべきものです。ニッチな世界でトップを目指すなら、学ぶ場は技術士会のCPD行事ではない可能性が高いです。

ところが、多くの技術士が年間50ポイントを得るためにCPD講演会を漁って、ポイント集めをしています。それは研鑽というよりポイントラリーです。

ここまで読んでもらえば理解していただけたと思います。正しく書くと「CPDポイントラリーなんて糞くらえ」です。ポイントラリーではなく、自分自身の戦略に沿った研鑽を続けてください。

そして、インプットよりもアウトプットです。世間はあなたが何をインプットしたかよりも何をアウトプットしているかで評価します。アウトプットはあなたの知名度を高めます。

是非「研鑽→アウトプット→知名度向上→売上向上」の流れをつくってください。

（個人の見解です）

日本技術士会千葉県支部会報 Vol.12 (2020)



日本技術士会千葉県支部会報 Vol.12 (2020)

編集人 日本技術士会千葉県支部広報委員会

委員長 秋元英郎 発行人

支部長 川畑真一

発行日 2020年11月28日

発行所 公益社団法人 日本技術士会千葉県支部

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-7-10

シャンボール千葉中央 2階 206号

日本技術士会 千葉県支部の Web サイト

[https://www.engineer.or.jp/c\\_shibu/chiba/](https://www.engineer.or.jp/c_shibu/chiba/)